

2024年度(令和6年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	13.2	83.0	3.8	0.0
女子	6.3	79.2	14.6	0.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	69.8	26.4	3.8	0.0
女子	54.2	27.1	16.7	2.1

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	41.5	39.6	15.1	3.8
女子	29.2	45.8	22.9	2.1

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.92	18.19	30.67	43.41	54.08	9.52	152.21	20.27	52.04	女子	16.38	16.38	35.33	41.13	47.06	9.95	139.27	12.70	53.36

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

【課題】運動やスポーツをすることが好き、体育の授業が楽しいと感じている児童とそうでない児童の二極化が見られる。
【要因】体育科授業において「分かる・できる」面白さを味わいきれていない児童が多い。

体力面

【課題】昨年度の実績により、握力・シャトルランの数値は向上した。依然として柔軟性と投力に課題がある。
【要因】体育科授業において、柔軟性を高める運動や投げる動きの経験が少ない。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・準備運動として体ほぐしの運動を行う。(柔軟性を高める・投力を高める運動を取り入れる。)
- ・学習させたいことを明確にし、運動が苦手な児童も単元を通して「何を学んだか」語れる授業改善を行う。
➡児童が夢中になって学べる場や教具の工夫を行う。(投動作も)
- ・系統性を見据えた体育科授業のカリキュラム構築

体育の授業以外で行う取組内容

- ・2学期より取り組んできた「一緒に運動しようゼデー」を継続し、体育館を開放する等の工夫をしながら運動する楽しさを味わえるようにする。
- ・「千田スポーツフェスティバル」等、児童が主体となって企画・運営し、全校児童が運動に親しめるようにする。
- ・生徒指導部と連携をし「大縄跳び大会」を行い、友達とかかわり合いながら運動する楽しさを味わえるようにする。

2025年度(R7年度)の重点目標値

- ・「運動やスポーツをすることは好きですか。」.....肯定的回答90%
- ・「体育の授業は楽しいですか。」.....肯定的回答90%
- ・長座体前屈、ボール投げ.....県平均以上